

## 選考委員会における委員のコメント

### 羽衣学園高等学校

#### 著作権を意識して～情報活用の力をつける、伝えたい事を相手に伝える～

- SNS (Facebook) の危険性だけでなく、利便性についても実際の体験 (Facebook での情報発信) を通して学ぶことは、今後重要になってくると考える。また、大学生や企業と連携することで、学びの深まりが期待できると思う。
- 10時間をかけた実践でありながら、段階的、発展的な説明がないのが残念である。また、「べき論」が多すぎて、実践の具体的な内容に欠けるように思う。報告書としては、説明文が詰まり過ぎて、論旨がわかりにくい。
- NHKやEMA、CRICの教材を活用している。Facebook という新しいメディアを題材にした著作権教育実践としては、初めての取り組みであると思われる。学年全体で扱う指導案やワークシートという昨年の実践をさらに発展させた内容であり、大学や企業と連携した活動へと発展しつつあることも注目できる。全体的にインターネット社会の正しい成熟に資するモデル的な実践となっている。
- 指導計画と授業のスケジュールは分かりやすいが、論文形式で報告書の文字が多すぎるため、他の学校への普及という点では実際の授業イメージがわきにくく残念である。ワークシートなど、授業での資料があるとよい。
- Facebook で実際に発信して意見交換する体験をさせること、学年の他のクラスでも同じように授業ができるように授業を設計していることがすばらしい。グループの話し合いによりインターネット利用のルールを考えているが、そこに著作権関係も入ると、学習が次の著作権にシームレスに発展できたと思う。
- 指導計画自体は理にかなっているのだろうが、高校生の利用が爆発的な伸びを見せているSNSに対する著作権指導という点においては、やや掘り下げが不足しているように感じる。
- 毎年、授業の系統的な構成はすばらしい。トレンドであるフェイスブックを素材にしたことが興味深い。また、外部講師を呼び、リスクの事例などを紹介することでより深みがでて、生徒の知識の周りを固める作業が補足されていて良い。生徒の未来に必要な知識も授業に取り入れている。また、まとめを行うことで生徒自らの意見や行動を整理することができている。
- 情報機器の発達と生活の変化という今日的なテーマ設定の中で、スマートフォンの登場により、ソーシャルメディアの利用の拡大など、今後、取り組む必要となることを大学進学前に身につけさせるという意欲的な実践を評価。
- Facebook を利用して著作権教育を行う試みがとてもすばらしい。また、一方的な知識

を注入するのではなく、学びのプロセスを大切にした授業デザインがとても素晴らしい。ただ、「著作権の理解につながった」と記述があるが、何をもってそう言えるのか説得力が弱い。

以上